

里づくり通信

◇◇◇ 空き家対策・移住促進の取り組み ◇◇◇

お試し住宅として活用する
田佳一郎様の空き家(写真右)



～ 移住希望者むけ ～

お試し住宅

はじめます

移住を希望される人たちを対象に 4 月 1 日から「お試し住宅」の貸し出しを始めます。

田舎暮らしの素晴らしさや地元の人との交流を体験する場がないのが取り組みの課題でした。森本の楠田佳一郎様の空き家をご提供いただき 3 月末をめどにお試し住宅として利用できるように一部を改修します。

移住希望者が地域を知り、地域が移住希望者を知る機会をつくれる場を配備するものです。

貸し出しは有料で、期間は数か月から年単位としますが、詳細はこれから決めます。

～ 三重と森本を世界に発信～ 協議会のホームページ完成

<https://miemorimoto-kyoto.com>

このたび三重・森本里力再生協議会のホームページが完成しました。

タイトルは「きて～なあ 京都・丹後 三重と森本」。当協議会の活動内容や両地区の見どころを中心に、女性グループ「まんぐるわ」や森本アグリ倶など地域で頑張っているグループの紹介。定期的に更新するブログ(行事予定など)もあり、移住希望者に見ていただくことを期待した内容にしています。

パソコン、スマホなどお持ちのかたは是非ご覧いただき、ご意見をお寄せください。

～ 市の空き家バンクに2軒登録～ 購入希望者を募集中

三重と森本の空き家所有者の皆さんに手紙や電話で協力をお願いした結果、2軒の皆さんから空き家活用の了承をいただきました。昨年 9 月、市の空き家バンクに登録してもらい購入希望者を募っています。登録情報は市のホームページから見ることができます。

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

里力役員一同



会長の
新田良文
です

京丹後市への移住希望者が、昨年秋から三重・森本地区に5組8名訪れました。移住を考える理由は様々ですが、移住地を決める際に共通しているのは、自然の豊かさ・その地域が持っている温かい雰囲気、そして、望む仕事ができること。住んでいる私たちが努力できることは、豊かな農地を守り、楽しい行事で住民がつながり、誰もが大切にされていると実感できる魅力ある地域づくり。そして、生活設計が展開できる地域産業の担い手作りです。



まんぐるわ
三重・森本
です

軽トラ朝市も二年目に入りました。野菜も少しずつですが、意欲的に作れるようになってきました。昨年十一月には、地元を飛び出し京都市内の府立植物園での販売という経験をすることができました。これも多くの方々の支えがあって出来たことと感謝しています。今年には計画的な野菜作りを行い安定した出荷と加工品づくりに繋がっていきたいです。今年もよろしくお願いします。

龍谷大学生の報告会

1年間の活動の総決算
皆さまのお越しをお待ちしています

日時 2月2日(土) 午後5時

場所 三重公民館

H30.12.31



- 12月11日 コミュニケーションデザイン講座 森本公民館 13人参加
- 11月3日 赤米(古代米)手刈り体験行事 4a田んぼ 25人参加
- 10月20~22日 第4回龍谷大学生合宿(43人) まち歩き、地域活動など
- 9月17日 三重・森本合同敬老祝い会 センターホテル京丹後 75歳以上
- 9月16日 空き缶拾い(森本クリーン作戦) 府道沿いなど 10人参加
- 8月27日 市内にある「お試し住宅」の視察(弥栄、網野へ) 9人参加
- 8月22日 ホームページ作成に向けて打合せスタート(8月~12月)
- 8月19日 空き缶拾い(三重クリーン作戦) 酒戸古国道沿い・竹野川 15人参加
- 7月8日 先進地視察(綾部市志賀郷地区など) 移住の取組み 24人参加
- 6月24~26日 第2回龍谷大学生合宿(19人) 生き物調査、話し合いなど
- 6月24日 第3回空き家の利活用住民座談会 25人参加 三重公民館
- 6月2日 赤米(古代米)手植え体験行事 4a田んぼ 33人参加
- 5月26日 森本空き家でミクタン「たんごひととおんがく展」約50人訪問
- 5月23日 若者グループ「三重・森本里カプロジェクト」発足
- 4月21日 今年の軽トラ朝市スタート 第三土曜日 まんぐるわ三重・森本

H30.4.1



- 3月20日 三重と森本が京都府移住促進特別区域に指定される
- 1月4日 三重と森本に「里の公共員」配置(府非常勤特別職) 吉岡大さん

三重・森本里カ再生協議会

昨年4月~12月の主な活動

昨年4月から12月に行った主な活動を報告します。新しく空き家対策や移住促進の取り組みを始めたのが特徴ですが、いずれの活動も両区が力を合わせたからできたことです。今年もご協力をよろしくお願いいたします。



自然の恵みを体験する活動

泥だらけになって赤米の手刈りをする子どもたち(11月3日)。とくに子どもたちが自然の恵みを体験し、故郷の良さを育んでもらう活動。



地域と大学の連携活動

三重水路の砂上げ作業と土のう作りを手伝う龍谷大学生(10月21日)。4年目となる三重・森本と大学の連携活動。今年度は5回の合宿を実施。



空き家の利活用活動

第3回空き家の利活用住民座談会の様子(6月24日)緊張をほぐすため遊び感覚を取り入れ進行。3回シリーズの最終回。(第1回H30.2.25、第2回H30.4.14)